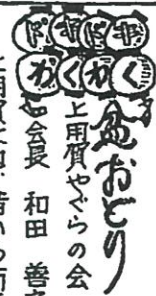


たまがわ5



平成4年7月20日
武蔵野市
木更津
平鈴町
TEL 9700-9720

号者局
26頁務
発行
第幾事



上戸賀には、昔から商店
が少なく、祭りごとと言う
ものはありませんでした。
夏休みの時期になっても
地域の子ども会が、それぞ
れ花火大会や、子どもだめし
をする程度で、地域ぐるみ
で夏を楽しむ行事がいまひ
とつ欠けていきました。

そこで私達仲間何かが出
来る事がないかと考えてい
たところ、金おどりをやろ
うと言う事になりました。
金おどりを通じて地域との
交流を深めるために、私達
は「上戸賀やぐらの会」を
作りました。初めての事で
もあり仲間達も忙しい仕事
の合間をぬって行事を行
うため、多少の不安があり
ますが、上戸賀町会や地域
商店の全面的なご理解と
ご支援のもと、実行委員一
同、今、張り切って進めて
いるところです。



夏の風物詩 三子玉川 池田 良天

多摩川の伝統的な夏の風
物詩といえは、自転車にの
ぼりを立てたアイスクリーム
売りで、鈴を鳴らして遠く
から近づいてくる音が冷氣
をさそうたものです。

お盆には、堤防の草むら
に、お茶を振り分け荷物に
したナスやキュウリの牛や馬
の姿も、季節を感じさせま
す。
なんといっても打ち上げ
花火の魅力が一番。昔は、
大師河原から府中へと多摩
川を上流に上っていったも
のですが、現在では三子玉
川が中心で、川崎市の記念
花火と、世田谷区夏花火大
会が盛大に開催されます。



三子玉川 池田 良天



夏休み 用賀二丁目 赤田 弘子

荷うちに待った夏休みがや
つてきます。キラキラ輝く
太陽の下では、子どもたち
の声も一オクターフ高く聞
こえます。

昨年、すいか割りとお父さ
んたちも夢中になって、親
も子も、楽しい夏の夜のひ
とときを過ごしました。
今年も六年生の子どもた
らとお母さんたちを中心に
和気あいあいとお楽しみ会
の案がわかれていきます。
さて、今年はどうな夏が
やってくるかしら。

子どもたちのほしやすさが
聞こえてきそうです。

若獅子会 用賀二丁目 赤田 弘子

十数年前、用賀神社のこ
樞宮の秋、式年遷宮の呼び
物として「獅子の顔合せ」
を是非復活し、雄雄太鼓を
見せようと図ったが、伝承
された方々が、物故され
残念ながら不可能となった。
せめて御神輿の町内奉迎だ
けでもと、若者の声があが
り、急遽結成。半てんの背
文字を採って、若獅子とい
こうと地元商店等の寄進で
遷成。随所の「みこし連」
の加勢を得て発足した。
サア、今年も区制60周年
区民まつりから、ハッキリ
暴れるぜ。



鈴木 武一

四季の歌じゃあないけれど
愛して居ようがないからが
梅雨がすんだらすぐ夏だ
昔の人は言いました
五七が雨のハッ日照り
今じゃ予報が当ハズレ
夕立 初雨、とおり雨
玉川花火がすむ頃は
シャトパンツに背中だし
腕出し脚出し肌出して
表現自由は驚いた
誰が言ったか曰焼カン
あるとか無いとか喋られて
何でも無いのにヒガ入り
子供も弱くなりますね
夏目よそ目に色白の
ヒ弱人間ふえてまう
夏にカラダ健康だ
海山いいけど近場にも
プールもあれば川もある
年に一度の夏行事
区民まつりの馬車公苑
地元町会上戸賀
今年や区制の60年
ハリ切りボーイが集まって
若獅子みこしが暴れるぜ
昔ワッショイ今セイヤ
誰れが教えて再声だ
威勢がないよなある様な
変な気持の人も居る
世の中ドンく変わるんだ
カミさんみんな奥様で
子供 ○君 ○○さん
ママやケン坊どこえやら
古い小父さんピクワリコ
月日は廻る走馬灯
立秋すきれば涼風が
直ぐに其処らで待っている
あした天気か下弦の月が
ビルの方々に消えてった



郷土紹介

学童集団疎開

郷土紹介と言ふ言葉には
少しなじまないかも知れま
せんが、今や、遠い思い出
の一つになった事に「学童
集団疎開」があります。

これは、太平洋戦争末期
戦況が次第に厳しくなる中
で小学校（当時国民学校）
と呼ばれていた児童を集
団で地方に移動させ、戦争
の被害から守るという政府
の施策で行なわれたもので
す。私たちの町でも昭和十
九年八月下旬、京西国民学
校からは一〇五名が新潟県
南魚沼郡六日町へ、二子五
川国民学校からは六十九名
の児童が長野県東筑摩郡本
郷村へと出発いたしました。

文芸

家族だんらん

瀬田小学校六年

因幡 典子



私には、お兄さんが三人います。
二十才、二十一才、十八才、私は十二才。生活時間がみ
んなちがいます。全員がそろつてはあまりありません。
ところが、六月十五日、夜十時、上のお兄さん、二番目の
お兄さんが次々と帰ってきました。家庭科の授業の中でも
計画できなかった。だんらん ができると思ひ、ドキドキ
して、あせりました。

私は、「よし」と思ひ、トランプ（ウノ）と人生ゲーム
を部屋にとりに行き、トランプ（ウノ）を、お父さん、お
母さん、お兄さん、私、六人分くばり、みんなの手に渡し
ました。

笑いながら、「だめだよ、こんな時間にと言ひながら
」では、一回だけ」と言つてはじまりました。まあ一回で
もいいや、と思ひながらやり始めたけれど、十一時になつ
ても「ウノ」の「あがり」と言ふ人がいなくて、楽しくて私
はだんだんうれしくなってきました。

やっと十一時すぎ、二番目のお兄さんがあがつて終わしま
した。夜の一時間ちょつと、これが家族だんらんだと思ひ
ました。こんどまた、集まつた時やりたいと思ひます。

そして、親許を離れた見ず
知らずの土地での集団生活
に入りました。大年生は翌
年三月、卒業の為帰京いた
しましたが、代つて第二次
疎開が実施され、東京の空
襲が激しくなるにつれ、疎
開は第四回まで行われまし
た。京西夜の場合、六日町
だけでは収容出来ず、近隣
の城内村受入施設に新たに
二百余名が疎開しました。

疎開児童は食糧難による
栄養失調等、苦しい日々を
経験し、終戦後の昭和二十
年十月になって、やっと我
家に帰る事が出来ました。
当時の大年生も、今年は
還暦、区内疎開体験者は、
今、本年十二月に疎開展や
記録文集の発行を準備し
ています。

（飯田）

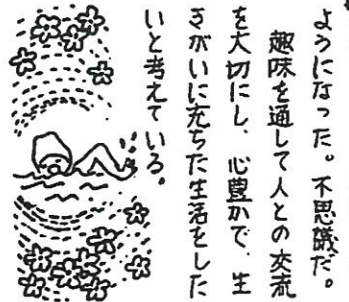
下町の 横好き

高秋時代に授業で茶道を
始め、爾来三十年間続けて
いる。これだけ長く続けて
いると趣味とは思えず、こ
れに関連してお茶会に行つ
たり、茶道具展を観賞し
たり、旅行に出たり
することが楽しみとな
り、茶道そのものは生
活の一部になってしま
ったようだ。一つの事
を長く続けることは勢
力も必要だったけれど
身の回りの状況の変化の中
でも中断されることがな
ったことを幸と思う。

そして今、人生の折り返
し年令にも達し、肉体的
能力的に低下していくとい
う面が否定出来なくなつて
きて、健康管理、体型の維

趣味の広場

持等々の理由から水泳を始
めた。新しい分野に挑戦す
ることは、お仲間に入れて
もらうこと、技術的につい
ていくこと、恥をかきなが
らの努力が必要だった。
自信を失くし、引きこもり
がちな気持ちに「今が
ばらなくていつか
ろ」と自身に喝を入れ
ながら三ヶ月たった。
下手ながらクロールも
格好がついてきた今は
お仲間も多勢出来、楽
しく笑って練習出来る
ようになった。不思議だ。
趣味を通して人との交流
を大切にし、心豊かで、生
きがいになりた生活をした
いと考えている。



トビウタス

金隔り大会

- 7月21日28日 用賀 駅前
- 8月1日2日 瀬田小学校庭
- 8月22日23日 用賀小学校庭
- 8月 30日 京西小学校庭
- ラブリバーにまがわ
- 花火大会

とき 7月24日(金)雨天万日
場所 世田谷区三子五川

緑地運動場
とき 8月1日(土)2日(日)
場所 馬車公苑 前夜祭

防災の日 7月31日
9月1日(火)は、防災の日。
本年は、都と区の間合により
る大規模な防災訓練が実施
されます。



あとかき

スイカ割りと肝だめし
楽しい夏の子ども会と
浜田さん。
家族のだんらんが出来
ると思ひ、ドキドキした
因幡さん。

人生の折り返しに始め
た水泳の 原さん。
夏が動き出しました。
遠くの金隔りの太鼓がきこ
えてきます。

さあ、夕涼みに、うちわを
片手に出かけてみては、
「ひろはしは、みんなの目
と耳です。」

地球にやさしい夏をどうぞ。
(柳田)

